IUNS 分科会（第 21 期・第 1 回）議事要旨

日 時：平成 21 年 1 月 7 日（水） 10：00-12：15

場 所：日本学術会議 6 階 6-B 会議室

出席者：池上幸江、磯貝 彰、磯田博子、清水 誠、武見ゆかり、田畑 泉

欠席者：宮澤陽夫、宮下和夫

陪席者：田中 清（京都女子大学）

議 事：

1. 委員の紹介

出席した 6 名の委員による自己紹介を行った。また、参考人として陪席を御願ひした田中教授からご挨拶を頂いた。

2. IUNS と IUNS 分科会のこれまでの活動概要について

資料（2006 年 2 月に学術会議に提出した加入国際学術団体に関する調査表、2007 年 12 月に行われた国際委員会によるヒアリング時に提出した資料）を用いて、世話人の清水委員から IUNS の概要と活動状況、IUNS 分科会の対応状況等についての説明がなされ、質疑を行った。

3. 委員長、副委員長、幹事の選出

これまでの活動概要、経緯を踏まえて役員を選出を行い、委員長に清水世話人、副委員長に宮澤委員（特任連携会員）、幹事に武見ゆかり委員を選出した。

4. アジア栄養学会議 2015 招致について

欠席の宮澤委員（アジア栄養学連合理事、日本栄養・食糧学会国際交流副委員長）より寄せられた経過説明のメールを紹介し、FANS（アジア栄養学連合）が主催するアジア栄養学会議（ACN）2015 の日本招致を日本栄養・食糧学会が積極的に検討していること、本年 10 月に IUNS が主催してバンコクで開催される国際栄養学会議（ICN）2009 の会期中に開かれる FANS 総会で立候補する準備を進めていることを確認した。IUNS 分科会としては、日本栄養・食糧学会の意向を聞きつつ ACN2015 の共同主催団体となるなど、招致運動を支援すること、他の栄養学関連学会を取りまとめ、ACN 開催のための体勢作りに協力することなどが提案され、了承された。

5. 若手育成国際ワークショップ開催について

2008 年 9 月にソウルで開催された第 2 回若手育成国際ワークショップ（IUNS／韓国栄養学会共同主催）の次回日本開催を期待する声があることから、その可能性を検討することにした。IUNS 分科会の依頼により上記ワークショップに出席した田中 清教授に参考人としてご出席願ひ、ソウルでのワークショップの内容につき説明を頂いた。日本開催に関しては開催の母体となる組織が明確でない部分があることから、IUNS 分科会が中心になって栄養・食糧学関連学会の組織化を図るなど体制作りが必要であること、実施のための財源確保が必要であること、ワークシ

ップのテーマ・ポリシーを日本開催にふさわしいものにするなど意見があり、早急に関連学会の意見交換会を IUNS 分科会と共同開催する形で開き、議論を進めることとした。

6. その他

・IUNS から到着している「International Nutrition Award2009 候補者の推薦依頼」、「IUNS 役員改選にともなう理事候補者の推薦依頼」、「Fellow の推薦依頼」について、栄養・食糧学会以外の関連学会にも周知することにした。「栄養・食糧学関連学会の意見交換会」開催への呼びかけのためにも、該当する関連学会を改めてリストアップすることにした。

- ・ 参考人としてご出席いただいた田中 清教授に特任連携会員として当分科会に加わっていただくことにし、申請手続きを開始することにした。

7. 次回委員会の日程

未定だが、「栄養・食糧学関連学会の意見交換会」と共同開催の形でおこなう。